

〔氏郷記〕中大佛殿普請之事

蒲生源左衛門尉郷成其日ノ裝束ニハ、太布ノ帷子ノ袖裾ヲハツシ、背ニハ大ギナル朱ノ丸ヲ付ケ、小麥藁ノ笠ニ、サイハイ取テ、石ノ上ニ登リ、木ヤリヲゾシタリケル、

〔我衣〕シユロ笠。薩摩ヨリ出ル、元祿ノ比、テウホウシタル笠也、出少クカムルモノマレナリ、三年モ五年モ用ヒテ重寶シタリ、シユロノ葉ヲサラシ、三枚四枚合セテ作ル、シユロノ葉ハ間キレテ笠ニ不作、是ビンロウジノ葉ナリト云、○圖

〔鹽尻〕六笠ニサマノノ和漢名アルコト 薩摩笠は、びりようの葉にて製せり、是琉球の作れる所に習へり、

〔我衣〕藤笠。フジヲアミテ作ル、元文比藤細工スル人、花生、カマシキ、手拭カケヲ作り、此笠モ作りタリ、若キ武士、醫者ナド御坊主多クカムリタリ、上方ヨリモ下ル、細工ヨシ、色々モヤウヲオリテ見事ナリ、○圖

〔守貞漫稿〕二十九藤笠○圖

今世江戸ノ士民、市中徘徊ニハ菅笠ヲ用フル人稀ニテ、トウガサ○、來船○ノ竹笠、網代笠、島笠等ヲ用フ、又近年葛籠笠モ用フ、藤ハ來船也、割削之テ皮ヲ用ヒ、或ハ身ヲモ削リテ笠ニ造ル、弘化中ヨリ京坂モ専用之シテ、竹ノ網代笠等廢ス、竹笠ハ、天保初ニ、駿州ヨリ始テ造リ出シ、江戸ニテ用之、今ハ藤竹トモニ江戸ニテ造之、竹笠出テ、次ニ藤笠ヲ造リ行ル、蓋藤竹網代等、中民以上ノ用トス、小民モ、戸主等ハ用之、賤業、庸夫、奴僕、丁兒等ハ不用之、○中 藤ガサ竹笠編法ハ、京坂ニ云、箱、江戸ニ云、

笠ト同キ也、○中

京坂ハ藤笠ヲ用フレドモ、近年ノコトニテ、江戸ヨリ流布十年許リ後レ遅キ也、

右ノ笠○藤笠、賤者ノ用ニ非ズト雖ドモ、唯江戸ノ履物損ヲ補フ非人ノ俗ニ、テ、イ、ト號ル者